

事故の例：上げ下げ窓の清掃中、障子が落下して指をはさみ骨折した

なぜ事故が起こったのか？

主婦が上げ下げ窓を掃除しようとして、障子を上げて固定し、下枠を拭いていたところ、突然障子が落下し、下枠との間に右手人差し指をはさみ骨折した。被害にあった主婦は、最近、障子が固定しづらくなったと感じていた。



事故にあわないためには！

長年の使用で上げ下げ窓に以下の現象がでた場合は窓の使用を止め、家を建てた業者様（工務店、ハウスメーカーなど）へ点検または修理をご依頼ください。業者様と連絡が取れない場合は、サッシメーカーの相談窓口にお問い合わせください。

- ・ 障子が固定しにくくなった、またはガタつくようになった。
- ・ 障子の開閉時に異音がするようになった。
- ・ 障子の開閉が重たくなった。
- ・ たて枠の障子固定用穴付近に、変形やキズが多く発生してきた。

など

そのまま使用されますと、障子が固定されずに落下し、思わぬけがをするおそれがあります。

【ご注意のポイント】

- ・ 上げ下げ窓の開閉操作は操作ツマミを持ち、障子が確実に固定されていることを確認してから手をはなしてください。
- ・ 上げ下げ窓に衝撃が加わるような乱暴な開閉は行わないでください。衝撃で不具合が発生し、障子が不意に落下するおそれがあります。